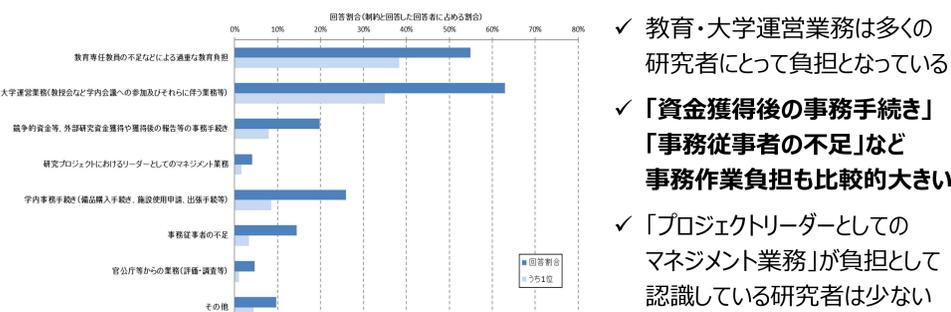


背景：大型外部資金を獲得後、研究者が研究に専念するためには？

- ◆ 教育活動・大学運営業務等の増加によって研究者の研究専従時間は減少傾向にあり、また申請/評価疲れ(成果報告等)によって研究者の負担は増加する一方である [1][2]
- ◆ 実態として、研究開発費や教育費などの大型外部資を獲得できても
 - ・ 外部資金獲得や獲得後の報告書等の事務手続き
 - ・ 事務従事者の不足
 等により、研究パフォーマンス向上に制約が生じている(図1) [1]

図1. 研究パフォーマンスを高める上で最も制約となっていること(研究時間)



[1] 文部科学省「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」-大学等教員の研究時間割合について- (2019)
 [2] 内閣府「研究力強化・若手研究者支援総合パッケージ」研究に専念する時間の確保 (2023)

- ◆ 事務作業とそのマネジメントの支援は研究者の負担を減らす？

	教育・大学運営	事務作業とそのマネジメント
業務改善	短期間では改善しにくい	改善しやすい
学内の支援	職員、URAの人的資源には限界がある	(研究の根幹に関わることを以外) 比較的支援しやすい
外部委託	困難	比較的容易

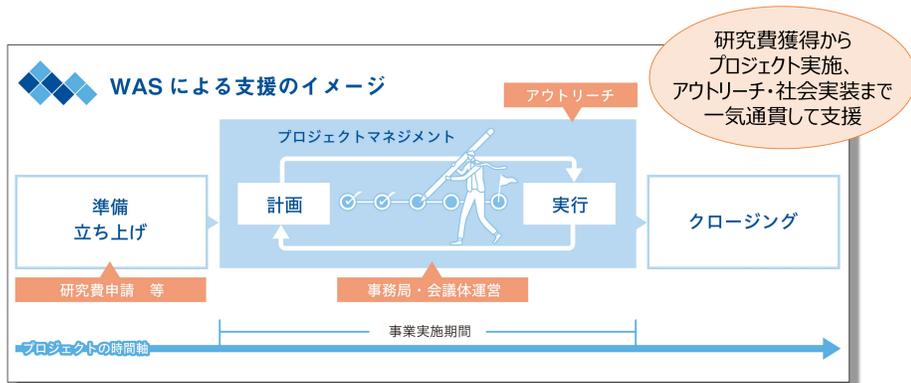
研究者のみならず、大学職員やURAの負担も軽減するため…

Solution 教育・研究に特化したプロジェクトマネジメント支援

本稿では 株式会社早稲田大学アカデミックソリューション(WAS)が提供する「大型外部資金プロジェクトのマネジメント支援」についてプロジェクト事務局運営支援の事例を踏まえて紹介する

取組事例：大型外部資金のプロジェクトマネジメント支援

WASのプロジェクトマネジメント支援体制について

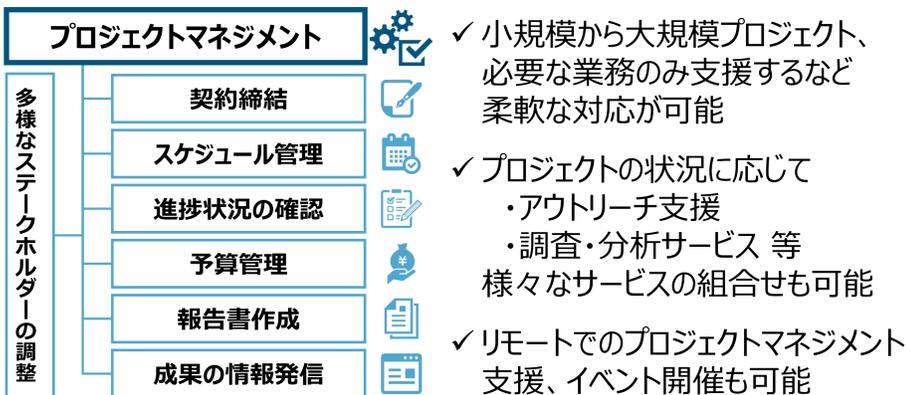


Point WASのプロジェクトマネジメント支援の特徴

- ✓ 過去15年以上にわたり早稲田大学、早稲田大学以外の国公立私立大学、国立研究開発法人等における外部資金を活用したプロジェクト支援業務を受託
- ✓ プロジェクト事務局運営支援を通じて、研究者や教員がプロジェクトにおける研究活動や教育活動そのものに注力できる環境の創出を目指して支援を実施

Point 経験豊富な専門人材がプロジェクトの進行を管理

- ✓ 公的な教育・研究プロジェクト運営支援業務の経験を有するスタッフが多数在籍
- ✓ 様々な分野での博士号・修士号取得者、中小企業診断士等の有資格者やJSPS等研究ファンド機関に外向経験を有する者がサービスを担当



支援例

1 ムーンショット型研究開発プロジェクトにおける資料作成支援

Point 資料作成の作業系統化・割り振り・ブラッシュアップ

研究者(プロジェクトマネージャー、課題推進者) 大学職員・URA、FA等のステークホルダーと連携。ステークホルダーを熟知しているからこそできるきめ細かな進行管理と提案が可能に。



図●作業工程管理表(例)

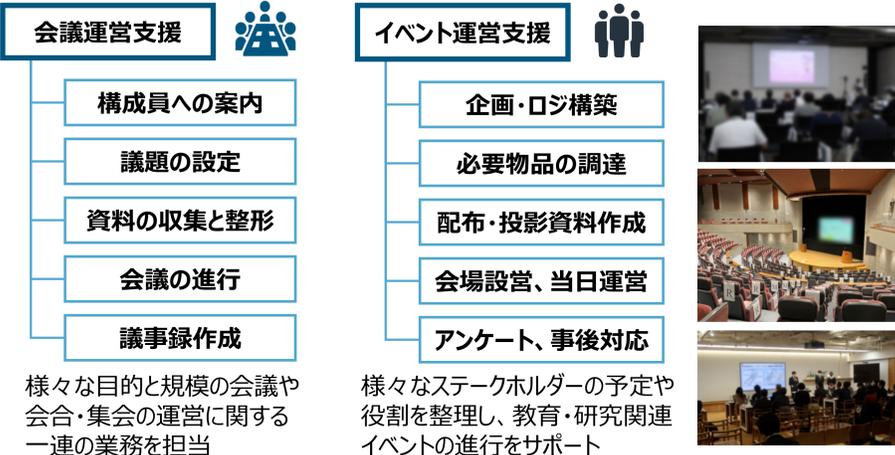
資料名	作成者	提出先	作業工程
PM 月報	研究者	PM	作成
	PM	研究者	提出
PM 進捗報告書	PM	研究者	作成
	研究者	PM	提出

工程を分解し、PM・PIの作業依頼や回収、統合まで一貫した支援を提供

研究者自身が何をすべきかを理解していただくため、早期の働きかけを大学職員、URAの方々と協力しながらサポート

2 ステークホルダーと連携して会議・アウトリーチを支援

Point 大型研究・教育プログラムの会議・イベントを運営



様々な目的と規模の会議や会合・集会の運営に関する一連の業務を担当

様々なステークホルダーの予定や役割を整理し、教育・研究関連イベントの進行をサポート

研究者や大学が目指すアウトリーチ内容を実現するために入念な下準備や当日の運営、事後対応まで一貫してサポート



Notion!

10/16 ランチョンセミナーにて当社の業務についてより詳細にご説明いたします。お申込みいただいた方は会場でもご相談ください。
 「研究者 & URAへの伴走支援：外部委託を活用してさらなる研究推進！」
 2024/10/16(水) 12:10 - 13:10 会場C